

生産性向上支援訓練を利用させていただきました！

石川メッキ工業株式会社 さま

所在地 : 金沢市
業種 : 表面処理製造業
利用コース : ①品質管理基本
②品質管理実践
実施時期 : ①令和3年7月(計4回)
②令和3年9月(計4回)
利用時間数 : 各合計11時間
実施機関 : 有限会社ステップアップ
(川合 智隼 先生)



＜事業主様の声＞
専務取締役
鴻野 健太郎 様

現在、当社では経営者や従業員、技術者や営業全てが連携し、全員で生産性向上または課題解決に取り組む、お互いが協力して深く考えるといったことを意識的に行っています。

今般の、新型コロナウイルス関連で、客先の見方がより厳しくなり、品質管理の考え方が非常に重要となってきております。

そのため、品質管理における「検査」について、自工程検査が基本であること（理想は検査不要）を理解し、それぞれが工程に責任を持ち、自分達で解決していく意識を持ち、良いモノづくりができる製造技術者となってほしいと感じ、訓練を受講しました。

受講者の多くは「品質管理」という言葉を難しいと感じていたようですが、普段の製造業務の中で、何気なく行っていることに当てはまり、訓練内容を身近に感じることができるようになりました。

また、普段から変化点に気を付けるようになったことや、自ら生産している製品の品質に疑問を持つことができるようになりました。

今後は、引き続き現場技術者が品質管理を実施できる体制を構築するために活用していきたいと考えております。

また、より良いモノづくりができるように、訓練内容が当社の社風となるためにこれから伝承していきたいと思っております。

＜受講者様の声＞
H 様

私の業務はバフ研磨という、いわゆる「職人仕事」です。仕事の中で、人や環境などの要素で、仕上がりにムラが発生しています。作業に関して、できる限り言語化し、最適なSDCAを構築することで、

高品質かつ均一な生産を日々、目指しています。

今回の訓練により「品質」というものを新たな方向から再認識でき、改善へのアプローチの方法も学べたので、とても実りのある訓練でした。

同時に、今まで感覚的に捉えていたことを、言葉として系統立てて説明をしていただいたことにより、方法論として自身で吸収ができました。

訓練により作業記録の重要性を再認識できたので、変化点記録などを含めて積極的に記入しています。

今後は、部署内で共有し、不良の再発防止・未然防止に役立て、より良い生産を目指していきたいと思えます。

＜受講者様の声＞
O 様

生産量を意識しすぎて、品質の向上の意識が高められていないこと、不良が発生しても原因の究明までできていないことが課題と感じていました。

今回の訓練受講により、「品質管理基本」コースを学んだ上で、「品質管理実践」コースの受講ができたので、品質管理の流れを理解することができました。

現在は、品質第一に考え、細やかな変化点を部署内で相談して、改善をしております。引き続き、不良を出さないように考え、万が一の発生時にも今後につながる再発防止ができるように原因を追求・未然防止に努めていきたいと思えます。



＜受講者様の声＞
I 様

私が課題と感じていることは、作業を人に教えることが難しく、個々人で仕事を行ってしまうことです。また、同じ作業をしているのに、人によって品質が違うことです。

今回の訓練で、品質管理が身近に感じられ、今までより更に、めっき膜厚のバラつきに注目するようになりました。

また、後工程での作業の人のことを考えて仕事をするようになりました。

グループワークを通して、他部署の人とコミュニケーションを取れたことにより、様々な意見を聞いたことが、このような意識に繋がったと思えます。

日々の業務では、ルーチン化することにより、細やかな変化や異常に気が付きやすくなりました。

今後は、全社改善活動など、何か行動をするときは、周りの人を巻き込んで、複数人で協力して活動しようと思えます。

同時に、発生したミスは後輩にも伝え、再発防止に努め、品質の安定化への仕組みや作業方法を積極的に考えようと思えます。